

フロリドゲル経口用2% ワルファリン併用による相互作用 発現症例

患 者	女性・70歳代
使用理由(併存症)	口腔感染(深部静脈血栓症、多発性筋炎、便秘、痔核)
本剤の投与	5g×3回/日×16日
併 用 薬	ワルファリンカリウム、プレドニゾロン、ウルソデオキシコール酸、センノシド、酸化マグネシウム、大腸菌死菌・ヒドロコルチゾン

発現状況等の経過

深部静脈血栓症のため、本剤投与開始約6年前からワルファリン(2.25mg/日)を服用していた。口腔感染の治療のために、本剤(5g×3回/日)投与開始。

本剤投与10日目 めまい(ふらつき感)のため救急外来受診。Hb(ヘモグロビン)値:5.9と低下。PT>120と著明に延長していたため、入院。ワルファリン中止し、ビタミンK静注、輸血施行。

本剤投与16日目 本剤とワルファリンの薬物相互作用によりPT-INRが延長した結果、消化管出血が生じていたと考えられたため、本剤を中止。

本剤中止6日後 PT-INR正常化。

本剤中止21日後 ワルファリン再開。

本剤中止27日後 PT-INR:1.79。治療域になり、以後ワルファリン継続中。

	投与中			中止後		
	1日目	10日目	16日目	6日後	21日後	27日後
ヘモグロビン(g/dL)	14.6	5.9	8.3	7.8	10.3	—
ヘマトクリット(%)	43.5	17.0	24.2	23.5	31.4	—
PT(秒)	31.6	>120.0	28.3	12.1	39.8	24.0
PT(%)	29.0	測定不能	34.0	92.0	22.0	39.0
PT-INR	2.25	測定不能	2.01	1.01	2.72	1.79
活性化部分トロンボプラスチン時間(秒)	—	52.9	30.2	—	53.3	27.9

※INR:International Normalized Ratio(国際標準化指数):ワルファリン治療域は概ね1.6~2.8

出典:「抗凝固薬の適正な使い方」医歯薬出版株式会社